

～ 分散剤選定から塗布・乾燥トラブル対策まで ～

粒子の分散安定化と事例から学ぶ分散設計のポイント

<https://www.rdsc.co.jp/seminar/260461>

LIVE配信／アーカイブ

◆日時：2026年04月09日（木）13:00～16:00

【アーカイブ配信：4/10～4/17】

◆会場：WEBセミナー（オンライン開催）

◆聴講料：1名につき49,500円（税込、資料付）

※会員登録（無料）をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申し込みされた場合、1名につき46,200円（税込）

・2名同時でお申し込みされた場合、2人目は無料（2名で49,500円（税込））

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師：ビックケミー・ジャパン(株) シニアソリューションナビゲーター 若原 章博 氏

【講座の趣旨】

粒子の分散安定化は、塗料・インキ・インクジェット・カラーフィルターなどにとどまらず、セラミックス・MLCC・放熱材料など電子分野や電池分野、フィルム分野でも基本技術の一つとなっている。

本セミナーでは、分散安定化の基本的な考え方をおさえたうえで、様々なアプリケーションでの例を示しながら、分散配合や分散体の設計方法について解説する。併せて、分散体の塗布乾燥過程で生じがちな不具合（濡れ不良・泡・沈降・平滑性不良）の原因とその対策についても触れる。またバイオベースの材料も一部、紹介する。

【プログラム】

1. 粒子の分散安定化の基本概念

- 1-1 分散工程での吸着と凝集防止
- 1-2 粒子表面と吸着の考え方
- 1-3 再凝集防止と安定化機構

2. 湿潤分散剤の構造と特徴と選択のポイント

- 2-1 粒子と吸着基との関係の視点
- 2-2 溶媒やバインダーとの関係の視点
- 2-3 直鎖型・分岐型・ABブロック型・超分岐型の構造と特性
- 2-4 熱可塑性樹脂でのカップリング剤

3. 様々なアプリケーションでの推奨：事例と着目点

- 3-1 有機顔料の分散安定化
 - (1) インクジェットでの微細化と特性から
- 3-2 カーボン系粒子の分散安定化
 - (1) 塗料での微細化と漆黒性
 - (2) リチウムイオン電池での粘性と電池特性
 - (3) 複数の粒子の共凝集
- 3-3 金属酸化物系粒子の分散安定化
 - (1) 表面処理の異なる二酸化チタンでの分散粘度と膜特性
- 3-4 非酸化物系無機粒子の分散安定化
 - (1) 窒化ホウ素、窒化アルミ、(アルミナ)の充填率と粘度

4. 塗布乾燥における不具合と対策

- 4-1 基材への濡れ：表面張力
- 4-2 泡の抑制：泡の安定化メカニズムと消泡剤
- 4-3 沈降の防止：レオロジーコントロール剤
- 4-4 塗布形状の保持：レオロジーコントロール剤
- 4-5 塗膜の平滑性：ベナードセルとマランゴニ効果

5. 再生産可能原料・バイオベースの添加剤

「分散安定化」セミナー申込書

■LIVE

■アーカイブ

※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい

会社名			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-mail
①		
②		

 会員登録（無料） Eメール 郵送 ※ご希望の案内方法を選択してください。複数選択可。

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項を記入のうえ、FAXにてお申し込みください。弊社で内容を確認後、受領のご連絡を差し上げます。受講用URLは後日お送りいたします。

なお、お申し込み後のキャンセルは原則として承っておりません。ご都合により出席できない場合は、代理の方にご出席いただくようお願いいたします。代理の方も見つからない場合は、(土日祝日を除く)8日前までにご連絡いただければキャンセルを承ります。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。

⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>